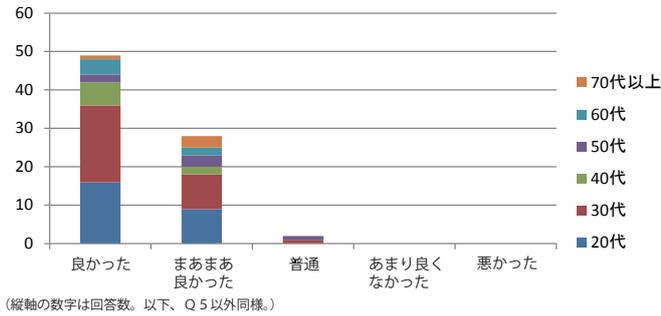


# アンケート集計 (当日参加者数 150 名、うち回答数 79 名)

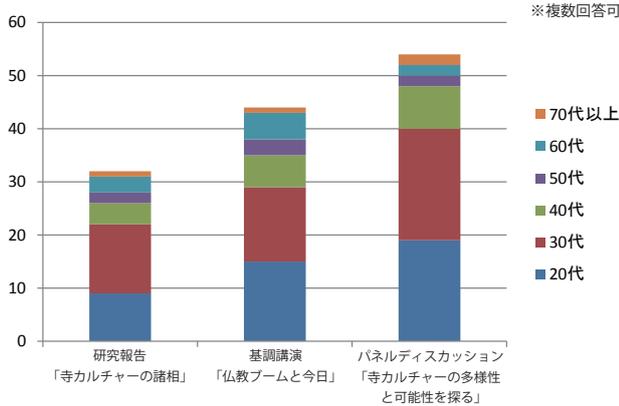
## Q1 今日のフォーラムはいかがでしたか。



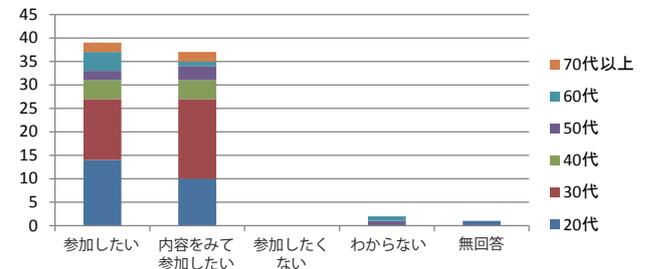
### 理由 (抜粋)

- ・横のモニターでツイッターのタイムラインを表示しているのがおもしろかったです。出演者の方もすごくバランスがとれていてよかったと思います。どの方も非常に興味深いお話をされていて、おもしろかったです。
- ・外国での寺・仏教ブームと日本の関係、仏教ブームから考える日本文化の在り方を知りたい。仏像・寺のスピリチュアルな在り方ではなく“文化現象”としての見方もおもしろいと思う。
- ・日ごろお寺の中から仏教をとらえてきましたが、学問的に、文化的に、また、現代の若い女性の視点から捉えなおす機会は大変有意義でした。
- ・今まで「仏教ブーム」という言葉を見ても聞いても実感を伴わなかったものがデータとして知れて良かったです。阿修羅展を軸としての仏教の印象の差についての話がとても面白いと思いました。寺カルチャーって何ぞやと思って参りましたが成程でした。ナイスネーミングです。

## Q2 フォーラムで面白いと思ったものはどれですか。



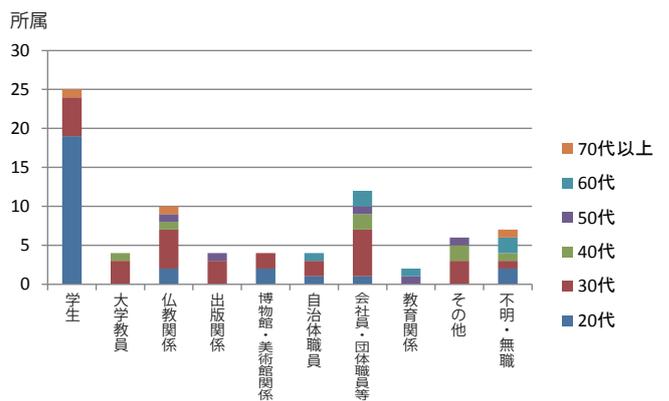
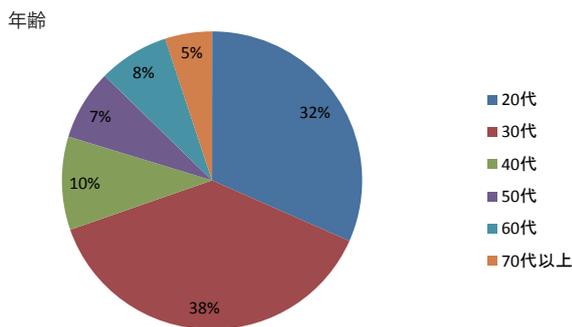
## Q3 来年度も文化資源学フォーラムが開催されますが、また参加したいと思いますか。



## Q4 フォーラムの進行や運営を含め、自由にご意見をお書きください。(抜粋)

- ・質疑応答の時間がなくとも、講演中、ディスカッション中などに他の聴講者の方々が何を感じ、考えておられるのかを Twitter でリアルタイムで知ることができ、大変興味深かったです。
- ・研究報告の発表の仕方、発声やスピードなどが上手だった。
- ・部屋がさすがに寒い。音の問題などもあるだろう。
- ・ポスターを見て参加を決めました。ポスターがすごく目立って可愛くて良いと思います。

## Q5 あなたご自身について教えてください。



## 総括

本フォーラムについて「良かった」「まあまあ良かった」と回答している参加者がほとんどであり、次回も「参加したい」「内容をみて参加したい」という回答についても同様であることから、本フォーラムはおおむね好評であったといえる。参加者の年齢層も、20代（≒学生）が多いのは予想の範囲内だとしても、「70代以上」まですべての年代の参加者が集まったことは特記できることである。これは、寺カルチャーの幅広い享受層と一致するのではないだろうか。参加者については、学生と仏教関係者が一定の割合を占めたが、「神道関係者」なども来場していたようだ。

Twitterのタイムラインを画面に表示して来場者が参加・閲覧できるようにしたのは好評であった。一方、質疑応答時間を中心にさらなる双方向性を求める声もみられた。その他、平日以外の開催を希望する声や、部屋の温度調節（音声記録のため電源オフ）についての要望が寄せられた。（竹内）